

# 令和8年度 市長施政方針(骨子)

令和8年第1回多摩市議会定例会で阿部市長が令和8年度の施政方針を述べました。その概要をお知らせします。

## はじめに

### ・大激動の世界秩序と日本の立ち位置

世界秩序は大きく揺れています。「米国なき世界」が語られ多極化が進んでいます。トランプ政権は、国際協調を基盤とする近代社会の枠組みから価値観を塗り替えようとしています。特に「地球沸騰化」、激化する気候変動を直視していません。日本は多国間協力、平和外交を基軸にしたリーダーシップを明確にすべきです。

### ・「地球沸騰化」は気候危機と命の危機に

大規模な火災・洪水や高温被害など、国内外でかつてない事態に直面しています。本市は、太陽光発電の新設など市民・事業者の脱炭素化の取り組みを強化してきました。酷暑への対応として小学校体育館や総合体育館第1スポーツホールへの空調設置の道筋をつけました。引き続き、市民・事業者・行政が一体となって取り組みを推進していきます。

### ・病院建て替え協議のリスタート

本年1月、東京都の立ち会いの下、日本医科大学多摩永山病院の建て替えに向けた協議を再開しました。この建て替え協議は、諏訪・永山まちづくりの起爆剤でもあり、将来にわたり安心して暮らし続けられる医療提供体制の確保に向け、丁寧に進めていきます。

## これまでの市政運営を振り返って

### ・「協創サポーター」で協創の実現へ

令和6年8月に自治基本条例を改正し、職員による「協創サポーター」制度を開始しました。今後、貝取・豊ヶ丘エリアをモデルに、プラットフォームの試行を進め、「協創」の実現、市民主権のまちづくりに向けた取り組みを進めます。



▲市民と協創サポーターが語り合うワークショップ

### ・市民とともに進める健幸まちづくり

本市は65歳以上健康寿命が男女ともに都内トップクラスを維持しています。ウォーキング・生活習慣病からの脱却など頑張る皆さんを応援するため、アプリを活用した健幸ポイント事業「TAMARUNRUN」などの取り組みを進めます。

### ・子育て世代に選ばれるまちへ

多摩センター駅周辺では、パルテノン多摩・中央図書館・多摩中央公園のグランドオープンによりにぎわいが生まれています。

聖蹟桜ヶ丘駅周辺では「せいせきカワマチ」の取り組みが本格化し、令和6年度には「かわまち大賞」として国土交通大臣表彰を受けました。



▲聖蹟桜ヶ丘かわまちづくりイベントの様子

永山駅周辺では、諏訪団地建て替え後の入居が一部で始まり、旧東永山小学校跡地でも建設工事が着工しています。「たまこどもフェス」などを通じた充実した子育て施策をアピールし、ハード・ソフトの両面から魅力的なまちをつくります。

### ・市民の困難に寄り添う行政

貧困の連鎖を断ち切り、格差のない社会の実現に向け、子どもたちの可能性を狭めることのないよう学習支援の拡充などに力を入れてきました。また、猛暑が続く中、市独自に非課税世帯などへエアコン購入費助成を実施しました。今後も「社会で弱い立場にある存在にしっかりと目を向ける」姿勢で取り組みます。また、国や東京都の取り組みとも連動しながら物価高騰対策に取り組めます。

## 市政運営の基本的な考え方

令和8年度は、第六次総合計画・基本計画を改定し、次のステージへつなげます。

### ・持続可能な行財政運営

既存事業の見直し、新たな財源の確保など将来に備えた財政運営を行います。いざというときに頼れる市役所であるため、職員の確保や定着に向けた取り組みを進めます。大型施設の建て替えや改修に備え「アセットマネジメント計画」の策定、これからの新たな学校のあり方検討を進めます。市役所本庁舎の建て替えに向け、基本設計などに着手します。建築費高騰など情勢の変化に対応し、一つずつ着実に進めます。

### ・市民サービスの改善

市民の利便性向上を図るため、行政手続きのオンライン化を推進します。中央図書館では座席管理システムを導入します。「おくやみコーナー」の開設など市役所窓口の改善に取り組めます。

### ・重点テーマへの取り組み

#### 【環境との共生】

カーボンハーフの達成に向け、創・省エネルギー機器等導入補助により市民・事業者による取り組みを支援します。公共施設への太陽光発電の設置、給食センター調理室・学校配膳室の熱中症対策、総合体育館第2スポーツホールの空調設置を進めます。新たに「(仮称)生物多様性フェスティバル」の開催とともに、近年、倒木の見られた乞田川沿いのサクラの更新工事を進めます。

### 【健幸まちづくりの推進】

健幸ポイント事業の機能拡充、本市発の「ライフウェルネス検定」デジタル版の構築、健幸！ワーク宣言企業と連携した取り組みを推進します。令和7年4月に施行した「みんなの笑顔が広がる歯と口の健康を推進する条例」を機に開始した26市初の妊婦・パートナー歯科健診などを通じ、健幸的な生活の獲得を支えます。

### 【活力・にぎわいの創出】

都市計画マスタープランで目指すまちづくりの実現に向け、令和8年度中に立地適正化計画を策定します。聖蹟桜ヶ丘駅周辺では、公民連携のもと、多様な人材が集積するエリアプラットフォームの構築や未来ビジョン策定と実現に取り組みます。ニュータウン再生に向け、諏訪・永山地区でのオープンハウス型の参加型企画、貝取・豊ヶ丘地区での社会実験に取り組めます。多摩センター駅周辺では、開館35周年を迎えたサンリオピューロランドと連携した取り組みを進めます。

## むすびに

世界秩序が大きく変化する中、アイスランドとの交流の輪が深まり、広がることは未来への光明と希望です。本年はアイスランドのレイキャビク市と姉妹都市の提携に向け踏み出します。ジェンダー平等の先進国から多くのことを学びます。

2月には、多摩地域平和ユースの若者と多摩地域の首長との「平和サミット」も行われ、被爆の実相の継承と核と戦争のない恒久平和を発信し、具体的なアクションを起こすことを確認しました。



▲多摩地域平和ユースの皆さん

旧統一教会による尾根幹線沿いの土地取得問題に関し、早期ににぎわいや雇用の創出の場を実現する利用がなされ、市民の皆さんの不安が払拭できるよう必要な対応や働きかけを行います。

昨年は日本で初めてのデフリンピックが東京で開催され、本市在住の選手が活躍されました。スポーツを通じたまちづくりがシビックプライドを育てています。本市として東京ヴェルディの選手が全力で戦える環境とサポーターの皆さんが応援できる環境を支えていきます。



全文は公式ホームページ・行政資料室で閲覧できます

☎1019251 企画課 ☎(338)6813 ・ ☎(337)7658

